



サロンあべの

〈サロン・あべの〉1月の出会い

新春演奏会

ギター・ハーモニカ・三味線・尺八等

平成24年1月21日(土)午後1時〜4時、〈サロン・あべの〉は、新春演奏会「ギター、ハーモニカ、三味線の伴奏で懐かしい歌を〜」と題して、「ミュージックサークルキューポラ」(代表:陣内忠之氏)をお迎えして開催。司会は、陣内氏の軽妙なお言葉で進められました。

・はじめに
今年も21日が過ぎ、345日しか残っていない。「ミュージックサークル キューポラ」の普段の活動は、老人ホームやデイサービスで演奏をさせてもらっています。なにぶんにも素人の集まりのグループですが、各個人はそれぞれのキャリアを積んだ人たちであり、中には人に

教えている人もいます。サークルメンバーは全部で12人ですが、今日は5人が参加。酒井育代さん(歌唱)、安田隆廣さん(ハーモニカ)、メンバーで一番きれいな山崎時代さん(三味線)、去年までメンバーの中で年長さん、今年も最年長で85歳の古淵義明さん(太鼓、尺八)。そして私(陣内さん)はギター・大正琴。

・懐かしい歌と生演奏
始めに唱歌6曲。
1曲目、「おもいでのアルバム」。元々、新一年生が歌う歌。ちよつと思ひ出を蘇らせるものいい。
2曲目、「ベチカ」。北原白秋が作詞した歌。

3曲目、「冬の星座」。1月2月といえど空が一番澄みわたった時期で、冬の星座で綺麗なのはオリオン座。

4曲目、「スキー」、今年は、日本海側に雪が多いですが、10年前に比べると「スキー」をする人が減っているそうです。

5曲目、「冬景色」、近くの木が葉を落として裸になつている。今日は大寒の入り、で半月くらい一番寒いシーズン。

6曲目、「母さんの歌」。街に出て行った子供達のことを思



って、お母さんがマフラーや手袋を編んだりする風景の歌。

7曲目からは、民謡。「黒田節」、福岡県の民謡でお祝いの席で歌われる歌。

8曲目、「デカンショ節」。兵庫県の民謡で、昭和の初めに大学生によく歌われた。

9曲目、「炭坑節」。福岡県の民謡で昭和30年〜40年代頃の炭鉱があったが今はなくなってしまう。盆踊りには欠かせない歌です。

10曲目からジャンルが変わり、ナツメロ7曲を演奏。

10曲目、「ここに幸あり」。大津美子さんの歌。

11曲目、「寒い朝」。大寒で寒い日が続きますが、吉永小百合さんとマヒナスターズの歌。

12曲目、「啼くな、小鳩よ」。岡晴夫さんといえば「憧れのハワイ航路」と同じくらい歌われた。

13曲目、「北帰行」。小林旭さんが歌った代表曲。

14曲目、「さくら貝の歌」。昭和36年位に倍賞千恵子さんが歌った歌。

15曲目は「いい湯だな」、元々はデューク・エイセスによる日本各地の御当地ソングである「にほんのうた」シリーズの一つで、この歌は群馬県の御当地ソング。その

後、ドリフターズが歌っていた。

16曲目、「好きになつた人」。都はるみさんの歌で、当時、バスガイドさんがバスツアーでよく歌われた。

豪華な歌伴奏で歌を歌い、歌唱をお聴きした後は暫時休憩。その後、参加者の意見や感想を聞きました。

「懐かしい歌が聴けて良かった。」
「歌詞も用意してもらって良かった。」など。

キューポラの活動は丸3年で、名前の由来は急にポランテアをするようになったから。キューポラとは、本来、小型の溶鉱炉に鉄を溶かす名前。メンバーの平均年齢は70歳以上とのこと。皆さんの息のあつた生演奏を聴き、澄んだ歌声に魅了された口ずさみながらその歌を歌っていたころの時代や自分の年齢を重ね合わせて懐かしさも一入。そして、その台間の軽快なトークで参加者一同、初笑い・初歌いで和んだ(サロン・あべの)1月の出会いでした。

(参加者18名 山村貴司)



美智子のこんな話

岸田美智子

やっぱり困ったのは介助でした！

私は昨年の年末、約7年前から患っていた白内障の手術を、両眼受けました。

手術を受ける前の視力は、左目が失明状態で、右目は0.02という状態で、2.3メートル先は湯気の向こうにあるようで、ほとんど見えていませんでした。読書が好きな私は、何か読む時は5センチぐらいまで近づかないと読めない状態で、会議などで出されるレジメや資料などは、もちろん読めませんし、向かい側に座っている人の顔がほとんど分からない事が多く、人と会う時は声と輪郭だけで判断していたようです。スーパーやお店などに行っても、何が商品として飾られているのかも分からないし、もちろん値段も分かりませんでした。

この様な状態だったので、外出する時にどこを歩いているのかわかりにくいし、新しい場所に行く事がとても不安でした。なので、その不安から身体に負担がかかり、緊張がとてきつくなってきました。

白内障の手術といえば、普通は数十分まで終わり、入院せずに日帰りで終わると聞いていますが、私の場合、緊張や不随運動があるので、どうしても静止できないため、全身麻酔で入院だと聞いていました。なのでとても不安であり、入院するとヘルパー制度が使えないので、入院時の介助をどうすればいいのかと手術に踏み切れなかったのです。手術前の受診時では、左目の白内障は悪化しすぎてにごった水晶体をうまくレーザーで砕いて取り出して、眼内レンズを挿入できるか分からないし、最悪もう一度手術が必要になったり、大出血を起こして失明するかもしれないと言われていました。さらに、全身麻酔は危険が伴い命にかかわるので、手術の説明の時は家族の人に同席してもらってくださいなどと言われて、私の緊張や不安はとて大きかったです。

でも、初体験の全身麻酔は、看護婦さんの「今から麻酔を入れますよ」という言葉で、点滴が入れられたとたんに、意識がな

くなったようです。そして、のどから何か抜かれていて、えずいてしまい、麻酔から目覚めた時は人口呼吸器を抜くところでした。

入院は5日間で、私の介助内容はやはり看護婦さんには、なかなか伝わらず短期間だったこともあり無理でしたが、運よくこの1番の介助者の問題は、なんと14日間連続で泊まってくれるボランティアアさんが見つかり解決できたし、日中もボランティアさんの協力や自費でヘルパー派遣をしてもらい解決できました。とてもラッキーでしたが、これが1ヶ月とかになると、難しかったと実感しています。

手術が終わった私の視力は、順調に回復していて、今はまるで別世界のように見ているのすべてに感動したり、発見したり連続で感動的な日々を過ごしています。

私の入院していた病院は総合病院で大きな病院で完全看護だったはずですが、私のようにナースコールも押せない状態の障害者が入院するのは難しいのだという実体験ができて勉強になりました。やっぱり入院時にも、ヘルパー派遣が必要だと今後いろいろな場で伝えていこうと改めて実感できた入院体験でした。

時間があっても

このサロン紙の原稿では、書けなくなるとい

つもきまって私は二つのことの中の一つをテーマにして書いてきた。そのひとつは「片付かない」ということであり、もうひとつは「時間がない」ということである。

ことに「時間がない」というテーマは、ことあるごとに書いてきた。内容のなくだらしないことを書いてしまった言い訳にもなっていたと思う。

ところが最近、私の状況に異変が起きた。「時間がある」のである、それもたつぷりと！休日などは、家族とのんびり過ごしている。

これは私の仕事の効率が上がったということではなく、職場から長期の研究休暇をもらったのである。今年度はそういうわけで、授業の負担もゼロではないが、かなり減っている。自由

な時間がたつぷりあるという贅沢な暮らしをさせてもらっている。

それでいて、こんなことを書くのは職場に対しても、世間の皆様にもたいへんに申し訳ないのだが、研究休暇をもらっていても、思ったほど研究が進んでいるわけでもない。のんびりしていたら、あつという間に一日が過ぎてしまい、貴重な研究休暇の期間もそろそろ終わりに近づいている。

この研究休暇の私にとつての最大の成果が「時間がたくさんあつても、良い仕事ができるわけではない」と悟ったことだ、といえ、あまりに情けないことなのかもしれない。

しかし、あと十数年残っているかもしれない私の現役生活に「時間がない」という言い訳は通用しないということがわかったという意味では、世間様には何の意味もないことで、たいへん申し訳ないのだが、私個人にとつてはこれほど大きな収穫はない。

私と同世代か、あるいはもっと若い人たちが立派な仕事をして、本を出して、論文を出してということを見ても、「ああ、あれは私よりも時間がある恵まれた生活をしているからだ。私だつて、もつと時間が与えられていたら、これ

くらいの仕事が出来ていたはず」と（恥ずかしいことだが）密かにそう考えていたのである。

しかし、いまや、それもできなくなった。時間があつても、ポーツとすごしている自分自身に直面しなければいけなかったのだから！

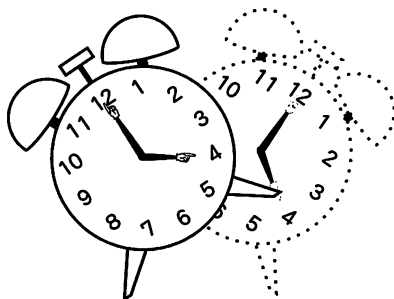
いま思えば、私がつもつとも集中して仕事や勉強に取り組めたというのは、理科系の大学を卒業したあと、社会福祉を学びなおすために二つの大学に通い始めたころかもしれない。あころは自活するために新聞配達のアアルバイトをしていた。朝は午前三時に起きて朝刊を配り、夕方は四時ごろから夕刊を配っていた。休日は集金などをしていたから、本当に時間がなかった。それでも、かなりの本が読めたという感じだった。

いやいや、三十年も昔のことを思い出し理想化しても仕方がない。

五〇をすぎたら、もう人間というものの、自分というものをよく知っているはずなのに、またこんな未熟なことを考えている自分が情けない。

昨夜は子どもに本を読んであげていたら、昭和三〇年代に翻訳された本だったので「五二、三の老人が」という一節がでてきて、思わずそこをばして読んでしまった。小さい子どもにと

つては父親が「老人」では不安だろうと思ったからだ。
 まだまだ、がんばらなくては。(知)



晴れのち晴れ

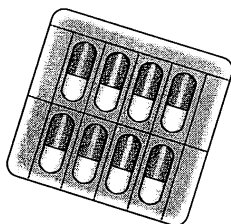
稲垣 恵雄

■くすり

最近、特にくすりを服用している人を多く見かける。私が利用しているデイサービスや作業所でもほとんどの人が、昼食後にくすりを飲んでいる。

他人事ではなく、私自身が10年ぐらい前から降圧剤や筋肉を和らげるなどのくすりを朝夕の食後に服用している。

言うまでもなくくすりは、病気やケガを治療、予防するために飲んだり、塗ったりするのである。そしてくすりには水薬、散薬、丸薬、煎薬、膏薬などがあるが、だいたい粉薬はすぐに効き、カプセル状(固形)の薬は時間をかけてゆっくりと効いてくる。



ところでオーバードーズという言葉があるが、薬物過剰摂取、つまりくすりの飲みすぎという意味である。一度オーバードーズをすると、何回も重ねていってやめられなくなるという。そう言えば以前、作業所に通っていたA君が長い間、一度に沢山のくすりを飲みすぎて入院してしまったこと

がある。彼は少し知的障害があるのでセーブできなかつたのであろう。それで彼が退院してからは家族の者や作業所のスタッフが必ずくすりを維持管理するようになった。

いずれにしても病気やケガをすればそれに応じたくすりを服用しなければならぬが、オーバードーズには、くれぐれも気をつけなければならない、と自分自身にも言い聞かせている。

中村かずみ

家族でアメリカ！ ケンタッキー州滞在記

28

2月14日はバレンタインデー。

日本と同様、アメリカの街もハートであふれます。本来は聖人聖バレンタインにちなんだ日だそうで、チョコレートを女性から贈る日なのは日本だけ、アメリカではただ大切な人に贈り物をする日なんだとよく聞きますが……？

子どもたちの様子では、バレンタインで盛り上がるのは女の子ばかりでした。小3だったサキは可愛いカード山ほどに“Happy Valentine”と書きまくり、クラス中の女子と交換、先生方にも渡していました。また、この日に「バレンタイン」と言えばラブレターのことなんだと

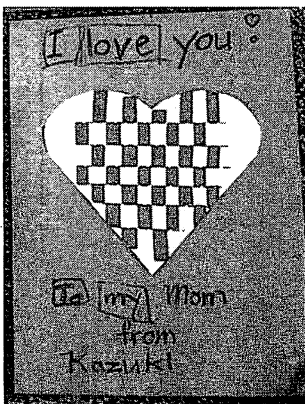
か♡なのに小5のコウジには普段と同じ日で、昼休みも零下10度でも外遊び！この年の男子がまだまだラブに興味ないのは、世界共通現象な様です。

中学生のカズキは養護学級の先生からキャンディをもらい、主人は『奥さんに花を買って帰りなさい』と、残業をさせてもらえずに早く帰ってきました(笑)

そうそう、日本でキャンディといえば固い飴のことですが、英語ではポケットに入る小さなお菓子は素材がガムでもチョコレートでも全部“candy”キャンディなんですよ、面白いですね。

それにしても、子どもたちが現地校に通って半年。この頃はかなり英語にも慣れ、と同時に日本語を忘れていくのには驚きました。日本の友達に手紙を書いていくのには驚きました。日本のカナ、そしてなんと自分の名前で詰まるようになります。どっちもアルファベットの方が先に出て来てしまうのだそうです。兄弟喧嘩も“Stupid”“Bad boy”と英語混じりに。文章の喋れないカズキも口にする単語が時々英語になりたりして、子どもの半年は大人の半年と違うのだと痛感しました。

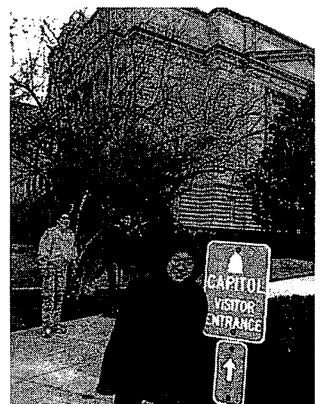
楽しむTV番組や好きなアイドル、欲しがるお



カズキ作、バレンタインカードです♡



中学ロッカー前のサキ、ハイスクールミュージカルみたい？



州都フラン克福ート市を訪ねて コウジ (後ろにカズキと父)

もちやもだんだんとクラスメートと同じアメリカのものになっていきます。

年下のサキが一番影響を受け「High School Musicalハイスクールミュージカル」という大人気ディズニー番組が大好きになって毎日踊る唄う、主人公ザックの切り抜きを友達と交換、今でも番組中の唄をよく唄っていて洋楽が大好きです。カスキは服屋でゴツいお兄さんがプリントされたTシャツを選びました。コウジ情報によれば人気プロレスラーなんだとか。

他に流行といえばwebkinzウェブキンズ。ぬいぐるみを買うとインターネット上でそのぬいぐるみの絵が動いてペットの様に世話が出来るといふもので、友達とメッセージもやりとり出来ます。当時は小学生がネット?と思いましたが、アメリカはネット普及率がとても高く(特に田舎には必要ウェブキンズ自体に子どもが安全に遊べる工夫もあって、みんなしている遊びでした。サントさんに英語の手紙を書いた甲斐があつてクリスマスに1匹届き、コウジもサキもお友達とずいぶんやりとりしていました。

インターネットは学校の授業でも大活躍で1人1台マシンがあり、ESL(英語が母国語でない生徒のクラス)では発音ゲームを、数学の時間に

は「世界対抗かけ算ゲーム」と、遊びながら楽しく学ぶ仕掛けで活用されていました。

かけ算ゲームは算数が得意なコウジがお気に入り、世界中の子どもたちとかけ算で対決。ポイントを貯めると、表示される自分がカッコいい装備に着替えられます。クラスでは友達に頼まれて代わりに対戦、満点を出してあげたそうです。実はこのゲーム、成績が前回より上がるとポイントがもらえる仕組み。あの後コルタス君困ったかもと、今でも時々思い出しては申し訳ない気持ちになるそうです。でも先生はきつと、気がついていましたよね?

来月は、そろそろ帰国支度について書こうかと思いません。

お知らせ

<サロン・あべの> 3月の出会い

- 内 容:「大肢協自助具の部屋の活動 & 作品展」
- お客様: 加藤義一氏
(ボランティアグループ 大肢協「自助具の部屋」会長)
- 日 時: 3月17日(土) 午後1時~4時
- 場 所: 育徳コミュニティーセンター2階、研修室
[大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
TEL06-6621-1901]
- 会 費: なし
- 問合せ先...
TEL06-6691-1028
(富田慶子)



「ハイスクール・ミュージカル ザ・ムービー」

〈大流行な映画〉
「ハイスクール・ミュージカル ザ・ムービー」
(2008年113分)
バスケットボール、数学天才少女。違う世界の2人が音楽で絆を深めていく超人気TVシリーズ第3作は映画化。食堂で、教室で舞台で、生徒たちが唄い踊る姿がキラキラで心躍ります!



3月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いませんか。

問合せ先：宮脇淳TEL090-3949-6973]

■「サロンいたみ」3月の出会いは、お休みです
問合せ先：安藤れい子TEL072-784-1718

■「サロン淀川」3月の出会い

日時：3月19日（日）午後1時30分～4時

内容：「震災から1年がたちました」

私たちは何ができたか、映像を観ながら
何をすればいいのか、みんなで考えませんか。

進行：「サロン淀川」窪田新一さん

場所：「やすらぎ」大阪市淀川区三国本町2-14-3

会費：なし

問合せ先：淀川区社協TEL06-6394-2900

■「ウイズ東淀川」3月の出会い

日時：未定

内容：未定

場所：NPO法人自由空間クラブ（東淀川区淡路2丁目）

会費：なし

問合せ先：TEL06-6340-3082（鈴木昭二）

■「サロンにしよど」3月の出会い

日時：3月24日（土）午後1時30分～3時30分

内容：未定

場所：「ふくふく」西淀川在宅センター

会費：なし

問合せ先：中本TEL090-9864-9678

■「サロンにし」3月の出会い

日時：3月27日（土）13時～15時45分

内容：音楽あふれる被災地仙台から元気を発信！！

音楽ライブ&映画上映「オハイエ！」

場所：現地集合、現地解散になっています。

会費：なし

場所：大阪市立西区民センター1階ホール

[大阪市西区北堀江4-2-7、

TEL06-6531-1400]



サロン・あべの毎月の感謝

○カンパ、お茶菓子、宛名シールのご提供、
また一筆箋のお買上げ等、
ありがとうございました。

小西京子、寺岡富子、仲田孝文、
平岡太、松村美鈴、松本妙子、
宮脇信子、山本鈴子、山本敏子、
その他の方、（敬称略）

<サロン・あべの>Vol.308 発行：平成24年（2012年）2月18日 定価¥100

編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆

事務局：〒545-0021大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>

TEL・FAX06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの00950-9-26941

印刷：セルフ社〒546-0044東住吉区北田辺町4-23-2ミスターDビル2F06-6719-8212

ホームページ：http://pweb.sophis.ac.jp/oka/salon/「サロン・あべの」でも検索できます